

**ECHIGO-
TSUMARI**

ART FIELD 2026 WINTER

ホンヤラドウ Snow Meeting

2026.1.24sat - 3.8sun

越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊

6lines studio+塚本由晴、山本愛子、井原宏路

ディレクション：BankART1929

ホンヤラドウー Snow Meeting

場所 | 越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊
会期 | 2026/1/24 (土) - 3/8 (日)
※祝日を除く火水定休
時間 | 10:00-17:00 (最終入館16:30)
※ライトアップ: 1、2月は20:00まで、3/1(日)以降
21:00まで
料金 | 無料

十日町では、小正月の頃に「ほんやら洞」と呼ばれる雪でできた家をつくり、地域ごとに憩いの場を設ける風習があります。この冬、MonETの建物を、雪を楽しんだり感じたりしながら、人々が集う大きな「ホンヤラドウ」として演出します。アトリエ・ワン共同主宰の塚本由晴と、塚本研究室出身の建築コレクティブ・6lines studioが、中庭に移り変わる雪の風景《雪待ち囲い》を生成し、夏秋に参加した山本愛子、井原宏路も冬を彩る新たな展開をみせます。会期中にはワークショップも実施します。

参加作家



《雪待ち囲い》

6lines studio + 塚本由晴

東京科学大学 (旧東京工業大学) 建築学系教授でアトリエ・ワン共同主宰の塚本由晴と、塚本研究室出身の大山亮、片山果穂、笹木聖、瀧野剛史、増井柚香子、宮崎陸による建築コレクティブ・6lines studio の共同企画。
十日町の人々の暮らしは毎年やってくる大雪と共にある。雪に備えて仮設的につくられる雪囲いや雪棚を参照し、茅や稲藁、サルベージした木材を用いたトンネルと雪用民具のツールシェッドを制作した。建築家原広司が「地球を見るための孔」と表現した MonET の中庭は、雪が降り積もるにつれて民俗的な雪庭へと変わり、回廊をつなぐもう一つの孔が現れる。
そんな想像を膨らませながら、雪を待つ。



《All Things are in Flux #5》Photo by Mikoto Yamagami

山本愛子 / Yamamoto Aiko

美術家。1991年神奈川県生まれ、京都府在住。アジアを中心とした国内外でのフィールドリサーチや滞在制作を通じて、自然環境と人間の関係性を主題に、主に染色技術を用いた作品を制作している。本作では、越後妻有の自然物をモチーフに、自身のドローイングの筆跡を織り交ぜ、サイアノタイプによる表現を試みる。



《足跡を裏返す》

井原宏路 / Ihara Koro

1988年大阪府生まれ。東京都在住。生物が生きていくことで生み出した副産物や生物の習性などに着目し、それらを生物が作った彫刻として自立させる作品を制作している。
雪に残る動物の足跡は、風化して消える刹那的な生命の痕跡である。その形を型取りし反転させることで、踏みしめられた空間を彫刻として立ち上げ、絶えず生まれては消える生命の証を残した作品を展開する。

イベント・ワークショップ

○「オープニングギャラリートークツアー」

1/24 (土) 14:00 MonET 回廊 / 無料
開幕初日、ツアー形式で参加作家によるオープニングギャラリートークを行います。

○井原宏路「雪の下を想像(創造)する」※要予約 2/21 (土) 13:00-15:00

会場 | 越後妻有里山現代美術館 MonET 及び周辺
参加費 | 一般 1,000円、小中学生500円
対象 | 小学生以上
雪を詰めた箱の中に、指や道具を使ってくぼみや跡をつくり、その形に水性樹脂を流し込んでリーフ彫刻を制作します。雪の詰め方や気温によって、形がはっきり写し取られることもあれば、樹脂の熱で雪が溶け、思いがけない形が生まれることもあります。流し込みは一度きり。偶然や自然の働きに身を委ねながら、この瞬間にしか生まれない、世界にひとつだけのかたちをつくります。

○山本愛子 「NATURE COLOR PICNIC in 妻有」 草木染めの会 vol.2」※要予約

3/7 (土) ①10:00-12:00 ②14:00-16:00
会場 | 越後妻有里山現代美術館 MonET
参加費 | 一般 1,000円、小中学生500円
対象 | 小学生以上
越後妻有で採れた冬の植物を使って草木染めを体験する会です。染料として使われる植物をお茶として味わう時間もあります。また、天気が良ければ、作家が去年の夏に染めた布を雪の上に広げて行う「雪晒し」も実施予定です。のんびりとした時間のなかで、染色を通して自然の循環や色の移ろいを一緒に楽しみましょう。

※各WSの予約・持ち物や注意事項などの詳細は大地の芸術祭HPをご覧ください



BankART1929

2004年から横浜を拠点に、歴史的建造物や遊休空間を公設民営の芸術文化施設として活用し、アート、建築、パフォーマンス、まちづくり等、幅広い分野を横断しながら活動。2025年からは、これまで培った「都市の経験」と様々な関係性をもとに、多様な人々と協働することで、社会とアートの新たな地平を切り開いていく。越後妻有では、2006年に「BankART 妻有 桐山の家」をオープン。築100年の農家を建築家のみかんぐみや美術作家たちとリノベーションし、以降の芸術祭に毎回参加。

問い合わせ

越後妻有里山現代美術館
MonET
新潟県十日町市本町
6の1丁目71-2
越後妻有交流館内
TEL : 025-761-7766
info@tsumari-artfield.com



「越後妻有の冬 2026」共通チケット

「越後妻有の冬 2026」会期中 (2026/1/24-3/8) お得に楽しめる共通チケットを活用して、冬の越後妻有とアートをお楽しみください。2回目は個別鑑賞券の半額で入館できます。

料金: 一般2,000円
小中学生800円
未就学児無料



芸術祭 HP



English

主催: 大地の芸術祭実行委員会、NPO法人越後妻有里山協働機構、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
委託: 令和7年度日本博2.0事業 (委託型) Japan Cultural Expo 2.0



日本博 HP